

川東の里だより

2005.7 No.80

発行者 伊藤義則
発行所 総合施設「川東の里」
きたみ学園
きたみ学園成人部 ☎24-2701
川東学園 ☎24-3030
友楽里・風楽里 ☎23-9591
フレンズ ☎22-6395
北見市川東226番地
印刷所 (有)サンケイプリント社



「太陽の丘公園」
いつの間にか、寒い日
も過ぎ去り、気づかぬ内
に暖かい日になりました。
きたみ学園では、この
春の園外行事で、えんが
る町にある「太陽の丘公園」
に行きました。

この日は、あいにく、
まだまだ、肌寒かつたの
ですが、みんなで一緒に
お弁当を食べたり、辺り
を散策したり、自転車に
乗つたりと楽しい一日を
過ごすことが出来ました。
来年もまた、ここにみんな
と一緒に来ることが出来れば、良いなあ。

平成十八年度から概ね五ヵ年で新体系に移行するためのグランデデザイン・障害者自立支援法(案)が、国より提示されてきました。この施策のポイントは①三障害(身体、精神、知的)の総合化、統合化、②市町村の役割と国・地方費用負担の明確化、③利用者に対する応益負担の導入、④新しい施設体系や給付体系の見直し等であります。まもなく具体的な内容が出され実施されます。この施策は、国にとってメリットが大きいと言われていますが、施設経営や利用者さんにとって金銭的負担等の面で多くの課題があるようです。

厳しくなる施設経営!

入所施設は障害を持つた人達に対して生活や自立訓練等を支援し、将来は地域生活をしていらっしゃう通過施設の役割を担っています。今度の新体系はそれを更に強めようとするものです。現行の場合は、入所施設は二四時間丸ごとの支援でしたが、新体系は「日中活動の場」と「住まいの場」に分割されることになります。

ります。

このことは入所されている人達は日中活動の選択肢が多くな

り、施設内の活動だけでなく自分の行きたい所を選択できます

から地域移行が進むと考えられます。しかし、支援する施設の立場からしますと、今までは昼夜の一貫した支援が必要であるから入所しているのであり、昼夜を切り離すとなれば、日中の

卷之三

れ実施されます。この施策は、国にとってメリットが大きいと言われていますが、施設経営や利用者さんにとつて金銭的負担等の面で多くの課題があるよう

厳しくなる施設経営—

入所施設は障害を持った人達に対して生活や自立訓練等を支援し、将来は地域生活をしてもらう通過施設の役割を担っています。今度の新体系はそれを更に強めようとするものです。現行の場合は、入所施設は二四時間丸ごとの支援でしたが、新体系は「日中活動の場」と「住まいの場」に分割されることになります。

空いた施設利用はどうなるか。
また、利用者が流動化すると職員の固定化が難しくなり、人材確保も困難になることが想定されます。更に、日中活動によつて経費や単価が異なるために事務的対応が複雑化する事にもなります。

現実的なことといえば、日中活動の選択できる受け皿になる活動の場を確保できるか等、多ります。

が約八三、〇〇〇円程、二級が六六、〇〇〇円程です。そこから入所者の場合、食費が実費負担になり、また、光熱水費、その他、所得に応じて定率負担があり、更に、医療費や被服費、日用品費が自己負担になるようです。ただ、入所の人達には、手元金が一定の額を割った場合には補足給付をして格差のないようにするようです。



総合施設「川東の里」施設長

グランドデザイン・障害者自立支援法(案)により

「何が、どう」変わるのか

いては、現在、国会で論議を呼んでおりまだ不透明な面があります。

この五年間で介護保険との関係をにらみながら調整を図り、「自立支援システムへの転換」を旗印に具体的な施策が提示されてくると思われます。

が約八三、〇〇〇円程、二級が六六、〇〇〇円程です。そこから入所者の場合、食費が実費負担になり、また、光熱水費、その他、所得に応じて定率負担があり、更に、医療費や被服費、日用品費が自己負担になるようです。ただ、入所の人達には、手元金が一定の額を割った場合には補足給付をして格差のないようにするようです。

「自立支援システムへの転換」を旗印に具体的な施策が提示され
てくると思われます。

今後、国の施策が明確になつた段階で、「川東の里の施設の在り方」を、長期展望に立ち、北見市の中核施設としての役割を果たせるよう総合的な計画づくりに努めて参りたいと考えています。

くの課題があります。
今後、具体的な内容提示の段階で施設の在り方を検討したい

グループホームの場合は現行は通所施設に通つても、利用料や昼食代は免除されていましたが、今後は昼食代や利用料を負担することになります。（預貯金や一定程度の収入を勘案）

「自立支援システムへの転換」を旗印に具体的な施策が提示され
てくると思われます。

今後、国の施策が明確になつた段階で、「川東の里の施設の在り方」を、長期展望に立ち、北見市の中核施設としての役割を果たせるよう総合的な計画づくりに努めて参りたいと考えています。

共同作業所から通所授産施設までの歩み

私どもが「フレンズハム」と銘打つてハムソーセージを作りはじめ二十二年目となりました。

当初からの願いであつた知的障がいを持つ方々の自立を目標に日々努力してきました。しかし当時の職員は入所施設からの出向で充分な人員配置ではなく思う様な支援が出来ない事を毎日自問自答するくらい切実な悩みでした。

入所施設からの出向なので入所施設を利用する方に対しても大変御迷惑をおかけしたと思っています。平成元年ハム部門は共同作業所として位置づけされ、さらに地域福祉の拠点としてのニーズを受け入れるべく新展開してきました。就労担当も作業所と連携をとり新規職場開拓、退職された方の受け入れ、福祉的就労の保障、地域生活者の生活支援とさまざま問題に対し対応してきました。しかし共同作業所になつたとはいえ無

認可でのスタート、職員はやはり入所施設からの出向でした。
平成十五年、ようやく道費補助をいただける事となり三名の職員が共同作業所の専門の職員となりました。

そして今年度、平成十七年より、待望の国の認可を受け通所授産施設として二十名の方を六名の職員で支援する事になりました。フレンズ開始当初からの夢が二十二年目にしてようやく実現されました。

これは職員だけではなくここから巣立つていった利用者、現在の利用者、父母の願いでもありました。この人員配置で利用される方の自立の為の給料保障、一般就労に向けての支援に邁進していきたいと思っております。

またこの「フレンズ」を立ち上げた諸先輩、利用者、ささえてくださつた父母のみなさまには心より御礼申し上げます。

通所授産フレンズ

支援員 工 藤 嗣 巳

みんなに愛される 豆腐屋をめざして

四月より、北見市大町にて豆腐工場の建設が始まると共にフレンズ豆腐作業班の活動も始まりました。

現在、工場建設中のため、置戸町で豆腐店を営んでいました伊藤様の工場をお借りし、豆腐、油揚げの試作に取り組んでいます。また、豆腐等の製造については、阿部茂職員の指導のもと、

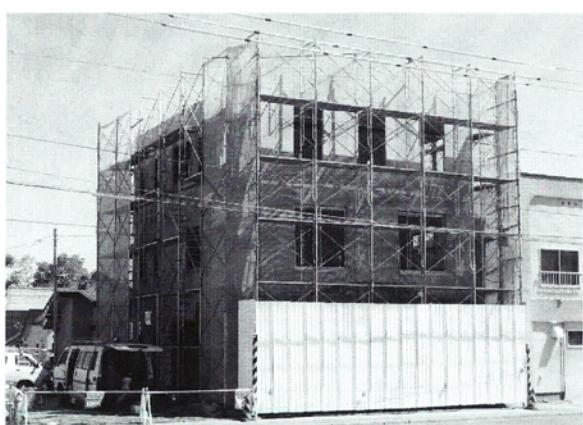
大豆の洗い方や道具の使い方といつた基礎的な技術から学んでいます。

その中で、豆腐等の製造の奥深さと厳しさを痛感しています。大豆は前日に洗い、水に浸しておますが、季節や気温に応じて水に浸す時間が異なることや一定の濃度の豆乳を絞ること、寄せ（豆乳ににぎりを入れ、攪拌する過程）の難しさ、また豆腐をまっすぐに切り、形を崩さずにパックに詰めることも集中力を必要とします。また、水槽内の豆腐をすくい上げ、パッ

ク詰める際は非常に手が冷たく、一方、油揚げは大量の大豆油を使用して揚げるため、火傷に気をつけなければなりません。川東の里生産物の理念である「食の安全」を守り、かつ、市民の皆さんに愛され、気軽に立ち寄つていただける店を目指し、担当職員三名と従業員十名が力を合わせ、努めています。

通所授産フレンズ分場

支援員 前 多 智 哉



パンづくり 三年目を迎えて

全くパンを作った事のない私がパン班に移動になった当時、新しい工場や機械、仲間達に囲まれて何もかもが珍しく、戸惑い、わからない事の連続でした。パンを焼いてはあせつて火傷をしてしまったり、レーズンパンの成形では中のレーズンが丸めているうちに出てきたり、表面がガタガタになってしまったりと失敗ばかりでした。



そんな私が今まで続けてこられたのは販売で聞くお客様の声があつたからです。様々な意見がありますが喜んでもらえたり、「おいしいね、また待っているよ。」との声に頑張らなくてはという気持ちになりました。

いつも利用者達一人一人が「おいしいパンを作るぞ。」といふ気持ちを持つて協力し合わないと、おいしいパンは出来ないことを話しています。私はパン作り三年目を迎えましたが、まだまだ未熟です。これからもパン班利用者と職員だけでなくお客様の力も借りて、皆の力を合わせ安全でおいしいフレンズパンを作つていきたいと思っています。

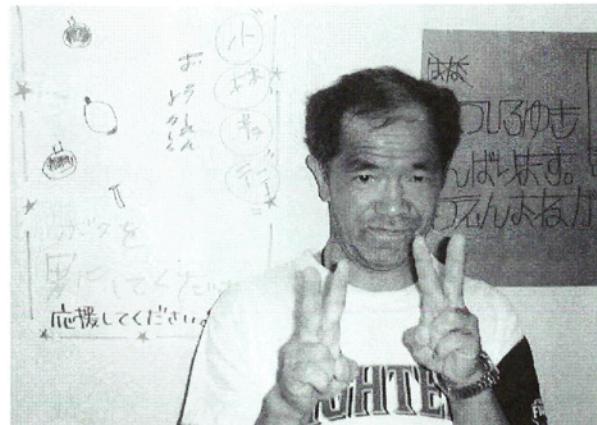
友楽里 支援員

横田直子

入所施設での生活は、基本的に日程や週の予定などスケジュールが決まっています。そのようななかで、私たちは極力柔軟な姿勢で対応し利用者の意見や気持を吸い上げるよう努力していますが、結局は職員側の一方的な“思い”であるように思われます。私たちは、利用者の方たちが常に“与えられる生活”ではなく自らの力で“生み出す

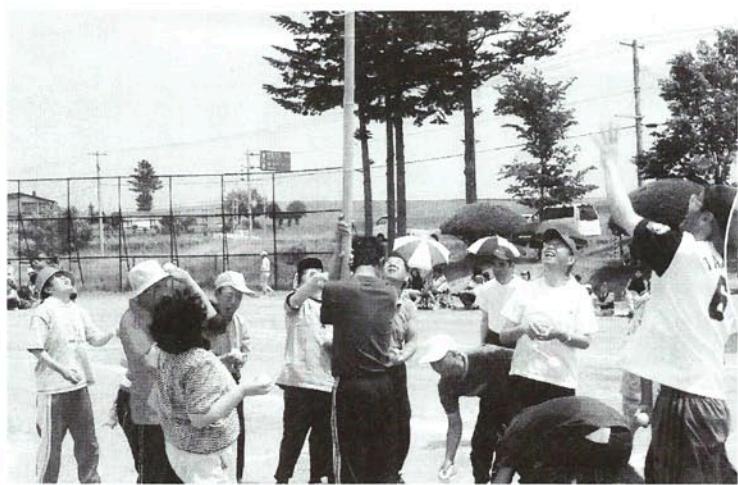
自治会誕生!! 名は「せせらぎ会」

生活”を送つて欲しいと願っています。また、毎日の生活に疑問や不満を感じ、それを意見として言える力をつけて欲しいと願っています。そんな力のつくりました。利用者の生活も落ちつき、皆さん多少のトラブルはあるものの日々、おだやかに暮らしています。そんな生活の中で、私たちは利用者が自分たちの生活を自らの力で考えていつて欲しいとの思いからこの度、利用者の会をつくりました。一回目の総会ではまず、会の名前をつけることになり、コスマス、なかよしなどの中から多数決で“せせらぎの会”と決まりました。



重ねが、利用者一人一人の夢や希望につながり、社会生活への自信になつていけばと思います。スタートラインに立つたばかりの利用者の会ですが、あせらずにゆっくりと、育てていきたいと思っています。

川東学園 支援員
村田蕗子

**親子旅行****青空班
家庭菜園づくり****たんぽぽ班・学校班
ドライブ(和琴)**

きたみ学園にとつての 初めてのグループホーム

新年度早々の出来事は、何と言つても、きたみ学園ときたみ学園成人部に、それぞれ一ヶ所のグループホームが認可された事です。様々な条件や事情もあり、認可是難しいと思つていただけに、嬉しい誤算（？）となりました。

住む所も何とか決まり、（自活訓練棟で借りていた建物）めでたく、学園を卒業するのは、対象となる（一ヶ所で四名で合わせて八名）方の保護者の皆さんに、御説明し御理解いただき、開設の運びとなりました。

名称も色々な候補の中から、きたみ学園は「ナナカマド」となり、メンバーは、坂田雄一さん、渡部尚さん、竹ヶ原正洋さん、竹原健一さん、きたみ学園成人部は「かしわ寮」で、メンバーは、中川桐人さん、荒井徳昭さん、安藤勇一さん、横田勝美さん、と決まり全員が自活訓練を経ての移行となりました。更に、



学園を卒業したことにより「入所」というシステムから「通所」に変わったことを初め、色々と戸惑うことは沢山あつたと思われるのですが、さりげなく越えていった様子には、逞しさを感じます。

枝も葉も沢山ついた、立派な「ナナカマド」「かしわ」に育つように応援して下さい。

きたみ学園 成人部

支援員 澤

知

現在きたみ・川東学園の歯科通院は主に市内歯科医院三ヶ所と音更緑陽台診療所は麻酔設備が完備され市内で治療困難な利用者の治療を行っています。毎年音更歯科の医師、衛生士八名程度がボランティアで検診を行い、その結果を元に治療計画を立てます。通院者数はきたみ・川東学園で年間三十名程で、約十五回通院しています。問題として音更までは遠距離で時間もかかり負担が大きい、利用者は学校、作業を休まなければならぬ、また緊急に治療が必要な場合もすぐに対応できないなどがあります。

そこで、平成十六年度より北見歯科医師会の歯科医師が立ち上がり「障がい者歯科保健医療推進モデル事業」を結成。網走管内で障がい者の歯科治療ができる様に動き始めました。歯科医師の知識を深める為の医師の

歯科治療の実情



学習会の実施。職員の歯みがきの意識を高める為の職員学習会、歯科衛生士による職員へのブラッシング指導などを実施しています。去年の秋には北見市の歯科医十七名が来園、利用者の歯科検診を行っています。

これらの活動により利用者の口腔内の清掃状態も良くなり、虫歯も減少しています。

今後、利用者の虫歯予防に力を入れつつ、早く管内ですべての治療ができる様、協力していきたいと思います。

きたみ学園 通所授業

看護師 吉村久美



風楽里に仲間入り

荒安中竹渡横
井藤川原部竹ヶ原田
雄徳勇桐健正勝
一昭一人尚洋美
さんさんさんさんさん

金中田沼
林田訓子
政幸典子
奈子さん
さんさんさん

川東学園に仲間入り

鈴木直人さん
伊藤一俊さん
佐々木洋一さん
柳原将司さん
杉山司さん

きたみ学園に仲間入り

松浦春夫さん
(グループホーム)
菊地千春さん
(自宅)

**きたみ学園を退所し
グリープホームへ
生活が始まりました**

マーガレットハウス

高西船原田
崎村起朋
朱雅佳朋
実美子美
さんさんさんさん

竹坂渡竹ヶ原
原田部正
健雄
一一尚洋
さんさんさんさん

ナナカマド

横荒中安
田井川藤
勝徳桐雄
美昭人
さんさんさんさん

かしわ寮

**きたみ学園を退所し
グリープホームへ
生活が始まりました**

川東学園を退所しました

新職員紹介



退職しました

北長岡佐々木出大福
木上岡宏奈水内加
亮和妙司美ゆ代千賀
藤井大黑谷妙子
和久千恵里
さんさんさんさん

早いもので、学園での生活も三ヶ月を過ぎました。園芸班での作業と生活支援、行事等と毎日色々な活動があり、あつとう間に過ぎてしまった三ヶ月でした。

まだまだ職員として未熟な部分も多くあるかと思いますが、利用者の皆さんの楽しい生活と健やかな成長を支える事が出来るよう、自分なりに精一杯頑張つて行きたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



川東学園支援員

田村 未帆

川東学園に勤めて

皆様からのたくさんのご厚情
ありがとうございました。

△寄贈品

カレンダーリサイクル実行委員会
北見市赤十字法師団

委員長 稲積眞佐子 様

国際ソロップチミスト北見

会長 辻 かず子 様

北海道農政事務所

シルバー人材センター

左京 俊夫 様 渡辺 礼子 様

脇本 利雄 様 村上 恒夫 様

我妻彦治郎 様 田坂光四郎 様

野村 保子 様 杉浦 早苗 様

佐高ツヤ子 様 水野 昭子 様

太田 仁志 様 黒川 恵 様

安代 藤吉 様 日本農産物株

石島 清 様 江頭 義人 様

市川 忠利 様 嶋崎泰治郎 様

石毛 敏子 様

△ギターによるミニコンサート
をして頂きました△

遠藤 正人 様

△自転車点検△
カラオケ披露をして頂きました△

北見北交ハイヤー株 様

△花壇の花植を
して頂きました△

国際ソロップチミスト北見みんと
会長 秋山 美紀 様

△花壇の花植を
して頂きました△

七月七日(木)
八月五日(金)

夏祭り
納涼会

八月七日(日)～八月二十一日(日)
夏期帰省(きたみ学園)

八月十四日(日)～八月二十一日(日)
夏期帰省(きたみ学園成人部)

(川東学園)

九月四日
父母ワーク

九月十日(土)
川東の里運動会

九月十三日(火)
収穫祭

九月十八日(日)
生産フェア

十月十六日(日)
父母ワーク

十一月十三日(火)
もちつき(川東・きたみ)

十二月二十二日(木)
クリスマス会(木)川東・きたみ

十二月二十五日～一月八日(日)
冬期帰省(きたみ学園)

十二月三十日～一月五日(木)
各期帰省(きたみ学園成人部)

川東の里行事予定

編集後記



早いもので、今年度が始まつてからと言うもの、あつという間に三ヶ月が、バタバタと過ぎ去り気が付けば四ヶ月目を迎えるまでになりました。今年度もまた、大きく全体に関わる部分では、毎年恒例の始業式から始まり、父母ワーク、親子旅行へと続きました。行事そのものは、これからが夏真っ盛りの本番と言えるでしょう。

さて、行事以外では、きたみ学園・川東学園においては、それぞれグループホームが認可されたので地域支援のニーズもあり一層充実したものにしなくてはならないと思います。

また、今年の九月に正式に開所する分場の豆腐屋ですが、現在、担当者を中心に連日連夜頑張っています。皆さんも応援よろしくお願い致します。

話題は変わつて、機関誌の発行が遅れたことについて担当としては、申し訳ない気持ちでいっぱいです。

この教訓を生かし、この一年、頑張つていきたいと思います。

(真田・大村)



△計報
川東学園父母会員
中田 允 様

四月一日

△冥福をお祈り致します。